前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

四一ム・ワコー株式会社 所 同山県笠岡市富岡100番地 本票作成 部署名:管理部 管理1 課境管理G 主たる業種 28 業種名:電子部品・デバイス・電子回路製造業 事業内容:LSI、ダイオード、発光ダイオード、及び半導体レーザの製造 従業員数:723名(平成31年5月末日現在) 所 在 地 回山県笠岡市富岡100番地 原工場 回山県笠岡市富岡100番地 回北場等の数 所 車両台数(②該当の場合) 白) 回北場等の数 の本面台数(②該当の場合) 白) 回北場等の数 不 (平成 30)年度排出量 日標年度(令和 2 年度) 年度) 第一工場 156 t CO: 1 t CO:	氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)									
本票作成 部署名:管理部 管理 1 課 環境管理G 主たる業種 2 2	タローム・ワコー株式会社					〒 714-0092 記 岡山県築岡市寛岡100番地				
主たる業種 学業の下さにSI、ダイオード、発光ダイオード、及び半導体レーザの製造 従業員数: 723名(平成31年3月末日現在) 番号 工場等の名称 所 在 地 回山県笠岡市富岡50番地 図 第一工場 岡山県笠岡市富岡100番地 岡山県笠岡市富岡100番地 岡山県笠岡市富岡100番地 岡山県笠岡市富岡100番地 岡山県笠岡市富岡100番地 田県笠岡市富岡100番地 田川県笠岡市富岡100番地 田川県全域・田川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西川県・西		部署	名:管理部 管理〕	課 環境管理G	17111131	, y (±12 ; g , ;)	m 1, 41, 4			
事業の 事業内容: LSI、ダイオード、発光ダイオード、及び半導体レーザの製造 従業員数: 723名(平成31年3月末日現在)					· 電子回	路製造業				
概要 従業員数:723名(平成31年3月末日現在) 書号 工場等の名称 所在 地 ① 第二工場 岡山県笠岡市富岡55番地 岡山県笠岡市富岡100番地 ② 第一工場 岡山県笠岡市富岡100番地 ② 第一工場等 岡山県笠岡市富岡100番地 □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			·				北の制は	<u> </u>		
□ 第二工場										
果内の まな 工場等 図 ①燃料等原油換算1,500ke以上 □ ②パス、トラック100台、タクシー250台以上 □ ③Co.換算3,000t以上 □ ③co.換算3,000t以上 □ ③co.換算3,000t以上 □ ③co.換算3,000t以上 □ ③co.換算3,000t以上 □ ②が3、所 ● 車両台数(②該当の場合) 台) 温室効果ガス 基準年度(平成 28 年度) (平成 30)年度排出量 目標年度(令和 2 年度)		番号	子号 工場等の名称			Ī	所 在	地		
禁行の 3 管理棟		1	第二工場		岡山	県笠岡市	富岡55番	地		
##	県内の	2	第一工場		岡山	県笠岡市	富岡100番	†地		
特定事業者 ② ①燃料等原油換算1,500ke以上 □ ②パス・トラック100台、ククシー250台以上 □ ③co.換算3,000t以上 ○ 恋当要件 (●工場等の数 3 所 ●車両台数(②該当の場合) 台) 温室効果ガス 基準年度(平成 28 年度) (平成 30)年度排出量 目標年度(令和 2 年度) 排出量		3	管理棟			県笠岡市	富岡100番	†地		
の該当要件 (●工場等の数 3 所 ●車両台数(②該当の場合) 台) 温室効果ガス 排出量 73,107 t CO₂ 69,955 t CO₂ 72,017 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 30)年度排出量 直接年度(平成 28 年度) (平成 30)年度排出量 「第二工場 64,704 t CO₂ ② 第一工場 5,095 t CO₂ ③ 管理棟 156 t CO₂ t CO₂ t CO₂ 計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) 「原単位基準 4.3 % 1.5 % ②達成 □未達 「原単位基準の削減目標を選択している場合に記入」」 「原単位基準 4.3 % 1.5 % ②達成 □未達 「原単位基準の削減目標を選択している場合に記入」」 「原単位基準 (30)年度削減率 目標年度 「原単位基準 (30)年度 1 長準 1 長半	上場等									
の該当要件 (●工場等の数 3 所 ●車両台数(②該当の場合) 台) 温室効果ガス 排出量 73,107 t CO₂ 69,955 t CO₂ 72,017 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 30)年度排出量 直接年度(平成 28 年度) (平成 30)年度排出量 「第二工場 64,704 t CO₂ ② 第一工場 5,095 t CO₂ ③ 管理棟 156 t CO₂ t CO₂ t CO₂ 計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) 「原単位基準 4.3 % 1.5 % ②達成 □未達 「原単位基準の削減目標を選択している場合に記入」」 「原単位基準 4.3 % 1.5 % ②達成 □未達 「原単位基準の削減目標を選択している場合に記入」」 「原単位基準 (30)年度削減率 目標年度 「原単位基準 (30)年度 1 長準 1 長半										
の該当要件 (●工場等の数 3 所 ●車両台数(②該当の場合) 台) 温室効果ガス 排出量 73,107 t CO₂ 69,955 t CO₂ 72,017 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 30)年度排出量 直接年度(平成 28 年度) (平成 30)年度排出量 「第二工場 64,704 t CO₂ ② 第一工場 5,095 t CO₂ ③ 管理棟 156 t CO₂										
温室効果ガス 排出量							_			
#出量 73,107 t CO2 69,955 t CO2 72,017 t CO2	の該主要	1+ (●工場等の数	3	●車両	台数(②該	亥当の場合	<u>})</u>	台)	
番号 工場等の名称 (平成 30) 年度排出量 ① 第二工場 64,704 t CO2 ② 第一工場 5,095 t CO2 ③ 管理棟 156 t CO2	温室効果カ	ス基	準年度(平成 28	年度) (平成	30)年月	度排出量	目標年度	(令和)	2 年度)	
主な工場等の排出量 64,704 t CO2 ② 第一工場 5,095 t CO2 ③ 管理棟 156 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) 運成状況 ② 総排出量基準 (30) 年度削減実績 目標削減率 目標達成 「原単位基準 (30) 年度削減実績 目標削減率 目標達成 目標達成 □未達 (原単位基準の削減目標を選択している 環形している 環形している 場合に記入) 「原単位基準 (30) 年度 目標年度 場合に記入) 「の2/() () (CO2/())	排出量		73, 107	CO ₂	69, 95	55 t CO ₂		72, 017	t CO ₂	
主な工場等の排出量 5,095 t CO2 3 管理棟 156 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) ②総排出量基準 (30) 年度削減実績 目標削減率 目標達成 □原単位基準 (30) 年度削減実績 目標削減率 目標達成 (原単位基準 (30) 年度削減 実績 目標削減率 目標達成 (原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) 場合に記入)		番	号	場等の名称		(平成	30) 年	度排出量		
主な工場等 の排出量		(① 第二工場			64, 704 t CO ₂				
の排出量	ナルナ相				5, 095 t CO ₂					
t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 t CO2 計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) ②総排出量基準 (30) 年度削減実績 目標削減率 目標達成 原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) 温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 展単位当たり排出量 基準年度 (30) 年度 目標年度 選択している場合に記入) この2/() CO2/() CO2/()		. (③ 管理棟							
計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) 上で成状況 上での変数					t CO ₂					
計画期間: 平成 29 年度 ~ 令和 2 年度 (4 箇年度) 連成状況									t CO ₂	
削減目標の 達成状況 □ 総排出量基準 (30)年度削減実績 目標削減率 目標達成 □ 原単位基準 4.3 % 1.5 % ②達成 □ 未達 (原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) に02/() に02/() に02/() に02/()									t CO ₂	
達成状況 図総排出量基準 (30) 年度削減美額 目標削減率 目標達成 原単位基準 4.3 % 1.5 % 図達成 未達 (原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) 基準年度 (30) 年度 目標年度 (002/()) (002/()) (002/()) (002/()) (002/()) (002/())	Mark by a re-		·画期間:	平成 29 年度	\sim	令和 2	年度	(4	箇年度)	
□ 原単位基準 4.3 % 1.5 % □ 達成 □ 未達			☑ 総排出量基準	(30) 年度削	減実績	目標削減	咸率	目標道	產成	
(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入) 基準年度 (30)年度 目標年度 (02/() C02/() C02/()	Æ/X-V/L		□原単位基準	4. 3	%	1. 5	% [☑ 達成	□未達	
の削減目標を 選択している 場合に記入) 202/() C02/() C02/()	(医兴华甘	温:	室効果ガスの排出量と	密接な関係をもつ値の内容			単位当たり	排出量		
場合に記入)	の削減目標	を			基準	年度	(30)	年度 目	標年度	
C02/($)$ $C02/($ $)$ $C02/($ $)$,		
(該当事業者のみ記入)					CO2/ () CO2/ () CO2/ ()				()	
		(該当事業者のみ記入) ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマーク				即事粉点	古(亚比	30 年度)	法战家学	
指標の状況		` —			1日/示	因是数制	旦(十)以	00 中戌/	连从平守	
1H MV -> . AV N.										
	【削減状	況の自	自己評価】							

- ・省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。
- ・C02排出量削減は、省エネ計画に沿って概ね順調に取り組んだ。
- ・今後とも、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

- 【推進体制】
 ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
 ・環境保全対策委員会(責任者:管理部管理1課環境管理Gグループリーダー)を毎月開催し、社内 全部門の環境目標及び結果を毎月フォロー。

【日煙削減率達成のために実施した堪器及び合後の取組】

【目標削減率達成のために実施	也した措直及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(30年度実施分) 全社	(30年度実施分) ・事務所等の照明機器/空調機器の管理強化(36kl/年):(3.49 t -C02)
全製造部	・生産設備の効率化、製造条件の見直し(40k1/年): (3.88 t -C02)
第一工場	・空調機器の更新(20k1/年): (1.94 t -C02)
第二工場	・冷却設備運用改善(冷凍機の負荷軽減対策)(160k1/年):(15.52 t -C02) ・受変電設備における低損失変圧器の増設/更新(20k1/年):(1.94 t -C02) ・空調機器の更新(40k1/年):(3.88. t -C02) ・ポンプ類のインバータ化(100k1/年):(9.7 t -C02)
(今後実施予定分) 全社	(今後実施予定分) ・LED照明の導入(10k1/年): (0.97 t -C02)
第二工場	・高効率チラーユニットへの更新(40k1/年): (3.88 t -C02) ・高効率ファン・低圧損充填材を使用したスクラバー導入(40k1/年): (3.88 t -C02) ・ドライエアー用コンプレッサーの効率運用(50k1/年): (4.85 t -C02) ・水素発生装置の運転最適化(120k1/年): (11.64t-C02)

【森林保全等吸収源対策への取組】					
県内で の取組	無				
その他	無				
【再生可能エネルギーの導入】					
県内で の取組	無				

その他無

【その他特記事	項】		